

非常時の取水方法

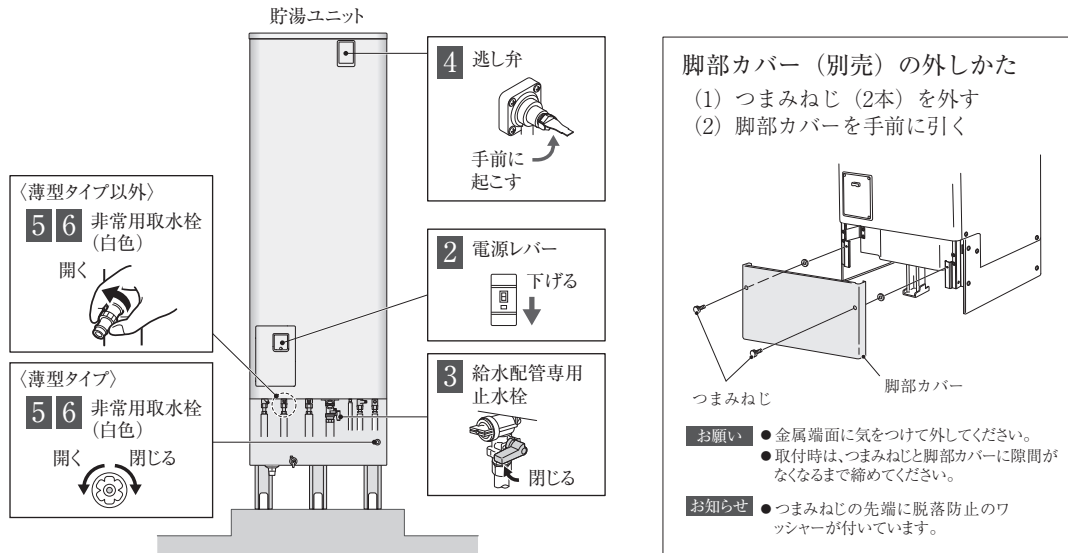
タンクの水(お湯)を生活用水として利用できます。

※薄型タイプの非常用取水ホースは、取扱説明書等と一緒に同梱されています。



警告

- 停電時の給湯は、必ず指先などで湯温を確認する(やけどの原因)
- 給湯(取水)・排水時は、熱湯が出ることもあるのでお湯に触らない(やけどの原因)



1 貯湯ユニットに脚部カバーが付いている場合は、脚部カバーを外す

2 電源レバーを下げ、「切」にする

- 電気の供給を停止します。

3 給水配管専用止水栓を閉じる

- 貯湯ユニットへの給水を止めます。

4 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす

- タンクへ空気を取り入れます。

5 〈薄型タイプ以外〉
非常用取水栓(白色)を開く(1回転~1回転半まわす)

〈薄型タイプ〉
同梱の非常用取水ホースを取り付け、非常用取水栓(白色)を開く

- タンクの水(お湯)を取り出します。バケツなどで受けます。

〈取水が終わったら〉

6 非常用取水栓を閉じ、手順1で外した脚部カバーを取り付ける



お願い

- 再び使用するときは、「使いはじめ(準備)」の手順にしたがってください。
必ず機器を満水にしてからご使用ください。

お知らせ

- 非常用取水栓(白色)は、ヒートポンプ配管用水抜き栓と兼用です。(薄型タイプ除く)

※本方法はSRT-S375を例にしております。

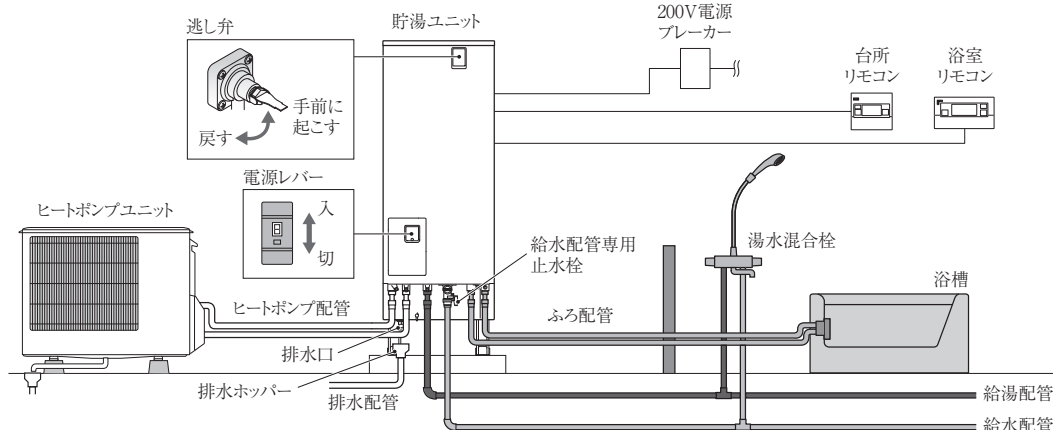
※非常時の取水方法は、給湯機正面のラベルでも確認できます。

使いはじめ(準備)

タンクの水を抜いた後は、次の手順で給湯機の使用を再開します。

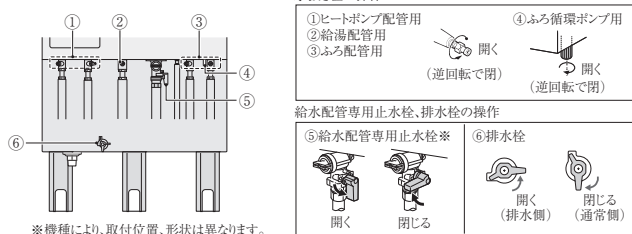
※必ず満水にしてから電源を入れてください。故障の原因となります。

- 逃し弁、電源レバー取付位置 追いきフルオートで説明しています。配管、水抜き栓の有無は機種により異なります。



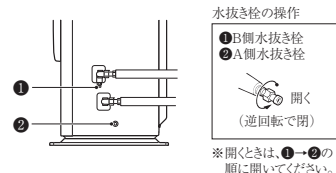
- 水抜き栓、排水栓、給水ストレーナ、給水配管専用止水栓の取付位置

貯湯ユニット



※機種により、取付位置、形状は異なります。

ヒートポンプユニット



※開くときは、●→●の順に開いてください。

1 以下のことを確認する

- 貯湯ユニットの電源レバー：「切」
- 貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水抜き栓、排水栓、給水ストレーナ：「閉」
- すべての蛇口(湯水混合栓)：「閉」

2 機器を満水にする

- (1) 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを
手前に起こす
- (2) 給水配管専用止水栓を開き、
貯湯ユニットへ給水する
 - 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。
 - 給湯配管に止水栓が取り付けられている場合は、開いていることを確認してください。
- (3) 貯湯ユニットの排水口から水が出ると
満水の合図です
(満水までの目安:約30分)
 - 排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。
 - 水がタンクに入らない場合は、次の手順で電源を入れ直してください。
 - ①200V電源ブレーカーと電源レバーを「入」にする
 - ②約30秒後、電源レバーと200V電源ブレーカーを「切」にする
- (4) 満水確認後、逃し弁のレバーを戻す
(排水が止まります)

3 満水を確認後、電源を入れる

- (1) 200V電源ブレーカーを「入」にする
- (2) 電源レバーを上げ、「入」にする

- 電源を入れると、昼間でも
わき上げを開始します。
- お湯の増加とともに残湯量
表示が増加します。最初は
「残湯なし」が表示されます。

タンクが満水でも
温度が45℃未満の
場合は「残湯なし」
が表示されます。
45℃以上になると
残湯量(目安)が
表示されます。

残湯量表示

4 機器のエア抜き運転をする

- (1) 台所リモコンの
選択スイッチ「▲」「▼」を
同時に3秒以上押す

日時設定 3秒押し	▲	▼
選択		
停止日数 入/切		

 - エア抜き運転中は、台所リモコンに「エア抜き」が
表示されます。約10分後に自動で停止します。
 - タンクが満水になる前にエア抜きをすると、30分
程度かかる場合があります。
 - 同手順(「▲」「▼」同時3秒押し)で、エア抜きを
終了できます。
- (2) エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、
逃し弁のレバーを約1分前
(1分後、レバーを戻す)

5 リモコンの日時を確認する

- 他の設定も工場出荷時に戻っていることがありま
すので、確認してください。

6 お湯を使う

- 約8時間で満タンまでわき上がります。
- 湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にして給湯
を開始し、適温に調整してください。(やけど防止)

 警告		使いはじめは、しばらくお湯に 触れない(やけどの原因) 特に朝の使いはじめは、空気の混ざった 熱湯が飛び散ることがあります。
---------------	--	-------------------------------------------------------------------------

※本方法はSRT-S375を例にしております。